

世界180カ国以上が目撃する、F1日本グランプリ決勝 YOSHIKIによる国歌演奏が決定！ ピアノとドラムによる前代未聞の国歌演奏を実施！ 大観衆が見守る鈴鹿で、世界最高峰の共鳴が実現

鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)は、2026年3月27日(金)~29日(日)に「2026 FIA F1世界選手権シリーズ Aramco 日本グランプリレース(以下、「F1日本グランプリ」)」を開催します。3月29日(日)の決勝スタート前セレモニー中に、世界的ミュージシャンであるYOSHIKIさんが、国歌演奏を行うことが決定しましたので、ご案内いたします。

本大会は、世界最高峰の自動車レースであるF1世界選手権シリーズの第3戦として開催され、開催期間中には20万人以上の観客が鈴鹿サーキットに集結する世界的イベントです。

決勝レースは世界180以上の国と地域で中継される予定で、多くの視聴者が見守る中、決勝スタート直前の国歌演奏はグランプリの幕開けを告げる象徴的なセレモニーとなります。

この世界最高峰の舞台上、日本が誇る世界的ミュージシャンであるYOSHIKIさんがピアノとドラムで日本国歌『君が代』を奏でます。



YOSHIKIさん

YOSHIKIさんのコメント：

「この度、鈴鹿サーキットで開催されるF1日本グランプリ決勝にて、国歌演奏を務めさせていただくことになりました。鈴鹿サーキットという世界最高峰のモータースポーツの舞台上、日本国歌『君が代』を奏でられることは、音楽家としてこの上ない名誉だと感じています。今回のパフォーマンスでは、ピアノに加えてドラムも叩く予定です。3度目の手術とリハビリを経て、再びこの地で皆さんに全力の音を届けられることを楽しみにしています。この機会に心から感謝し、特別な瞬間を音楽で届けられればと思います」

YOSHIKIさんについて：

作詞家、作曲家、「X JAPAN」のリーダーとしてピアノ、ドラムを担当。

2025年、米TIME誌「世界で最も影響力のある100人(TIME100)」に日本人アーティストとして初選出。

天皇陛下御即位十年記念式典の奉祝曲、愛知万博公式イメージソング、ハリウッド映画のテーマソング、世界最高峰の米ゴールデングローブ賞公式テーマソングを作曲するなど、グローバルに活動。米ロックの殿堂マディソン・スクエア・ガーデン(2014年)、英ロックの殿堂ウェンブリー・アリーナ(2017年)、米クラシックの殿堂カーネギー・ホールでの単独公演を成功させ、アジア人として初めて音楽の3大殿堂を制覇。さらに2023年10月、英ロイヤル・アルバート・ホール、米ドルビー・シアター、米カーネギー・ホールの歴史的3会場制覇という偉業を成し遂げた。

2023年9月、ハリウッドを象徴するTCLチャイニーズ・シアター(米ロサンゼルス)に、日本人として初、アジア人の中でもアーティストとしては初めて自身の手形・足形を刻印。

着物ブランド「YOSHIKIMONO」、ハイファッションブランド「MAISON YOSHIKI PARIS」のデザイナー、映画『YOSHIKI : UNDER THE SKY』では初監督を務めるなど活動は多岐にわたる。外務省が開設した日本文化の発信施設「JAPAN HOUSE」のアドバイザーにも就任。

米国501(C)(3)非営利公益法人 Yoshiki Foundation Americaを設立し、慈善活動にも尽力。2024年10月に3度目の頸椎手術を受け、2025年を通じた長期リハビリを経て復活。

F1日本グランプリの翌週、2年半ぶりとなるクラシカルコンサート「YOSHIKI CLASSICAL 2026 覚醒前夜—Tokyo 3 Nights 世界への第一章」を、4月3日(金)・4日(土)・5日(日)東京ガーデンシアターにて開催。3度の頸椎手術と長期リハビリを乗り越えた復活公演として、国内外で大きな注目を集めている。

The F1 FORMULA 1 logo, F1 logo, FORMULA 1, F1, FIA FORMULA ONE WORLD CHAMPIONSHIP, JAPANESE GRAND PRIX and related marks are trade marks of Formula One Licensing BV, a Formula 1 company. All rights reserved.

F1フォーミュラ1ロゴ、F1ロゴ、フォーミュラ1、F1、FIAフォーミュラワン世界選手権、日本グランプリおよび関連商標は、F1企業であるフォーミュラワン・ライセンシングBVの商標です。全てのコンテンツが保護されています。